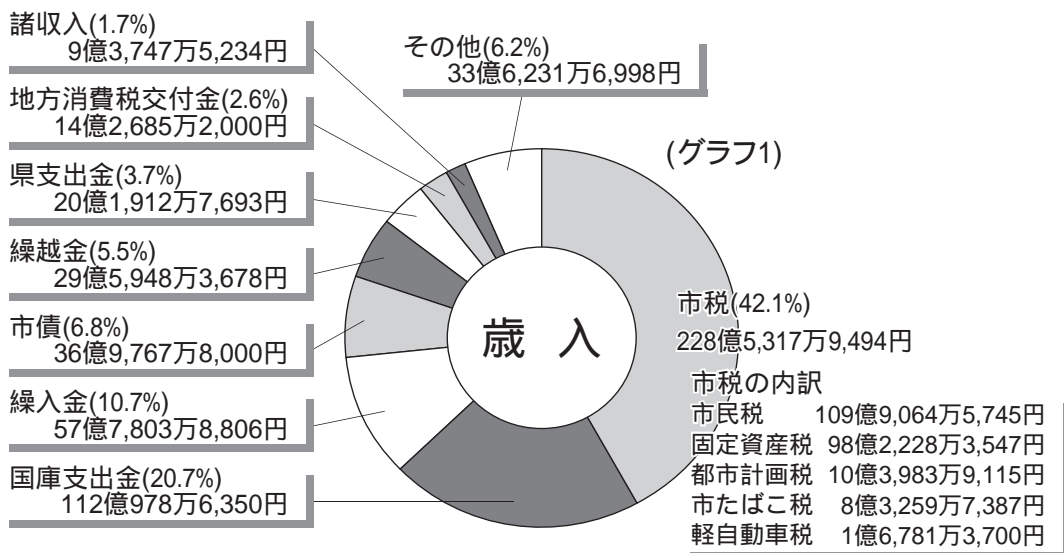


平成21年度の決算状況報告



その他の内訳

使用料及び手数料 1.4%)..7億7,485万1,699円
 国有提供施設等所在市町村
 助成交付金等 1.1%)..5億9,766万6,000円
 分担金及び負担金 0.9%)..4億9,499万7,410円
 地方譲与税 0.7%)..3億7,167万3,134円
 地方特例交付金 0.7%)..3億6,741万6,000円
 地方交付税 0.4%)..2億2,467万1,000円
 財産収入 0.3%)..1億6,614万694円
 自動車取得税交付金 0.3%)..1億6,099万8,000円
 利子割交付金 0.1%)..7,824万1,000円
 ゴルフ場利用税交付金 0.1%)..4,174万7,907円
 配当割交付金 0.1%)..2,984万円
 交通安全対策特別交付金 0.1%)..2,658万5,000円
 株式等譲渡所得割交付金 0.0%)..1,596万1,000円
 寄附金 0.0%)..1,152万8,154円

歳入は市の財源として入ってくるお金です。歳入において市税は、本格的な経済危機の影響を受け、前年度に比べ12・9%の減となりましたが、国庫支出金の受け入れや基金の繰り入れを積極的に行った結果、決算総額は前年度に

歳入

542億4千393万8千253円

比ベ16・4%の増となりました。

グラフ1はその内訳を表したものです。市税は歳入の約4割を占めています。次に多いのは民生費関係の負担金の増額などにより、国庫支出金となっています。以下、繰入金、市債、繰越金、県支出金の順になっています。また、市民の皆さん一人当たり換算した市税は14万4千969円で、前年度に比べ12・6%の減となりました。

歳出

521億5千162万3千464円

歳出は、市民の皆さんのために使われるお金で、前年度に比べ19・5%の増となりました。グラフ2は、歳出を目的別に表したものです。民生費福祉のため

に要する経費が最も多く、次いで総務費、市の運営などに要する経費、土木費、教育費、公債費の順になっています。表2は、目的別歳出を市民の皆

■歳入歳出総額

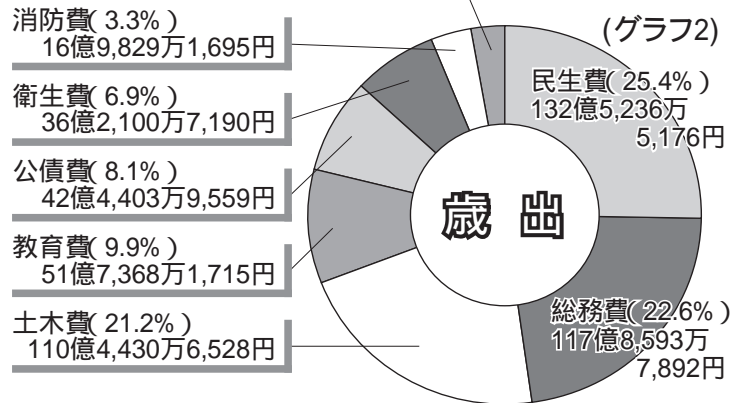
(表1)

区分	歳入	歳出	
一般会計	542億4,393万8,253円	521億5,162万3,464円	
特別会計	国民健康保険	160億1,437万8,224円	152億3,517万6,113円
	下水道事業	44億1,739万3,609円	44億696万2,827円
	老人保健	6,446万5,019円	5,198万6,736円
	上広瀬土地区画整理事業	1億9,062万2,065円	1億7,371万3,809円
	狭山市駅東口土地区画整理事業	7億1,490万6,209円	6億8,845万9,162円
	介護保険	67億6,234万6,680円	64億5,686万6,193円
	後期高齢者医療	12億4,664万3,569円	12億1,066万2,717円
合計	836億5,469万3,628円	803億7,545万1,021円	

重点事業の主な決算 (表4)

総務費	(仮称)狭山元気大学開設事業	16万円
	総合振興計画・後期基本計画策定事業	798万4,830円
	市庁舎設備等改修事業	1億354万1,550円
	公用車更新事業	1,651万4,803円
	コミュニティ施設特別整備事業	1,437万1,000円
民生費	第2期地域福祉計画策定事業	241万5,000円
	こども医療費支給対象年齢拡大事業	3億1,297万1,888円
	次世代育成支援計画後期計画策定事業	200万5,500円
	第三児童館改修事業	3,437万4,900円
衛生費	急患センター(夜間診療)運営事業	1,550万3,960円
	緑のカーテン事業	198万4,500円
	自然エネルギー活用促進事業	500万円
	第二環境センター設備改修事業	1億1,999万2,089円
労働費	焼却灰セメント等資源化事業	1億5,681万2,118円
	緊急雇用対策事業	388万8,565円
産農林水産業費	緊急失業対策事業	282万9,000円
	基盤整備促進事業	1,213万1,600円
商工費	中心市街地活性化推進事業	500万円
	企業立地奨励事業	7,845万3,700円
土木費	一般市道整備事業	1億7,967万4,010円
	不老川橋りょう改修事業	5,531万8,702円
	いっ水対策事業	137万5,500円
	狭山市駅西口地区第一種市街地再開発事業	24億3,397万9,000円
	新都市機能ゾーン整備事業	9,472万4,881円
	狭山市駅橋上駅舎・東西自由通路整備事業	13億2,549万円
	1街区公益保留床取得事業	14億9,756万3,252円
	入曽駅東口地区市街地開発事業	1,057万6,238円
	狭山市駅霞野線整備事業	1億764万2,867円
	既存市営住宅改修等事業	4,293万5,679円
消防費	消防機械施設整備事業	4,612万6,500円
	津南町との小学生農業体験交流事業	255万円
教育費	教育情報ネットワークシステム更新事業	846万490円
	道徳副読本整備事業	736万3,929円
	学童保育室整備事業	1,701万7,879円
	小中学校校舎等改修事業	1億7,962万6,968円
	小中学校校舎耐震補強事業	4億6,816万6,584円
	小学校統廃合推進事業	6,260万1,668円
	小学校校舎空調設備改修事業	4億3,828万9,129円
	第一学校給食センター更新事業	5億2,357万6,799円
	公共施設耐震改修事業	1,858万5,000円

商工費(1.2%)	6億1,228万1,330円
議会費(0.6%)	3億1,227万5,550円
労働費(0.4%)	2億1,191万9,561円
農林水産業費(0.4%)	1億8,608万7,971円
諸支出金(0.0%)	942万9,297円



性質別内訳 (表3)

項目	金額
普通建設事業費	104億6,187万9千円
人件費	102億6,637万9千円
扶助費	70億6,487万1千円
物件費	65億1,993万8千円
補助費等	53億1,196万4千円
繰出金	51億8,652万円
公債費	42億4,404万円
積立金	24億5,828万6千円
投資及び出資金貸付金	4億4,273万7千円
維持補修費	1億9,500万9千円
合計	521億5,162万3千円

一人当たりの歳出 (表2)

項目	金額
民生費	8万4,066円
総務費	7万4,763円
土木費	7万59円
教育費	3万2,819円
公債費	2万6,922円
衛生費	2万2,970円
消防費	1万773円
商工費	3,884円
議会費	1,981円
労働費	1,344円
農林水産業費	1,180円
諸支出金	60円
合計	33万821円

表4は、重点事業の主な決算で、子ども医療費支給対象年齢拡大事業などのソフト事業をはじめ、狭山市駅西口開発の関連事業や第一学校給食センター更新事業、小中学校校舎耐震補強事業など、さまざまな事業を行いました。

問合せ財政課へ内線7112

平成21年度 水道事業会計決算状況

問合せ水道業務課へ内線2312

平成21年度の水道事業会計決算が認定されましたのでお知らせします。

給水原価の内訳
水道水1m³当たりの給水原価(製造価格)は、160.71円です。

収益的収入と支出(水道料金などの収入と修繕などの支出)
収入30億5,597万70円 支出28億9,238万8,963円
利益剰余金(税抜)1億1,965万7,901円は、減債積立金に積み立てました。
資本的収入と支出(施設の新設・改良などの財源と支出)
収入3億5,688万1,880円 支出13億2,722万6,647円
不足額9億7,034万4,767円は、留保資金などで補てんしました。

